

一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 村山 龍一 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 肥後大津駅周辺整備計画について	(1) 肥後大津駅の整備について 肥後大津駅は1914年（大正3年）6月21日に鉄道院の宮路軽便線の最終駅として開業した。1999年（平成11年）10月1日に熊本大津駅間が電化となり、2011年（平成23年）10月1日に大津南駅南口が開設した。2014年には、開通100周年のイベントも開催され、昨年で、110周年を迎えた。 今回、阿蘇くまもと空港アクセス鉄道が、肥後大津ルートとなり、令和9年度から整備着手、令和16年度の開通を目指すと説明があった。これは、100年に一度のチャンスであると考え。肥後大津駅の整備、駅を抜ける南北道路の整備や駅周辺開発をどのように行っていくのか。町長の考えを問う。 (2) 老人福祉センターについて 大津町老人福祉センターは、1990年（平成2年）に現在の場所に移転し開設した。建築から35年が経過し、施設の老朽化や現在の機能性に欠けるなどの話を聞くが、肥後大津駅周辺整備において、老人福祉センターの建て替えや子どもから高齢者までを対象とした総合福祉センターにするなどいろいろな方々が使用できる多面的な施設にするのか。現在の場所から移転をするのか。どのように考えているのか町長の考えを問う。 (3) 大津中央公園について 大津中央公園の場所は、1938年（昭和13年）に大津町企業誘致第1号としてアルコール工場が完成し操業を開始した。その後、操業を停止し、大津町が買収し、2012年（平成24年）に大津町中央公園としてオープンした。中央公園は、町の中心部に位置し、子育て健診センターと連携し、子どもたちが安心安全に遊べる場であり、世代間を超えた町民の交流と憩いの場であり、防災機能を確保した防災広場である。今回、阿蘇くまもと空港アクセス鉄道のルートになると思われるが、中央公園の代替地や代替えの機能をどうするのか。町長の考えを問う。	町 長

2 企業誘致のための用途について	大津町は1975年（昭和50年）に町内全域が、都市計画区域となり、1979年（昭和54年）に住居専用地域、住居地域、商業地域、工業地域など用途地域の指定を行った。その後、住宅の開発や商業施設の進出の状況に合わせて用途地域の変更を行ってきている。 用途地域の中で、室工業団地は、工業地域として指定を行っているが、住宅は建設できるため、工場の隣に住宅が建築され、操業に支障がある企業も出てきている。また、住宅密集地に工場があったので、郊外に工場を移転したところ、近隣に住宅が建ったので、操業に支障をきたしている。 用途地域外では、工場を建設したが、近隣に住宅が建ち、近隣の住宅から苦情を言われて操業に支障がでてきているなど、企業の方々からの声を聞く。安心して企業が操業できる環境を作るのが町の責任であると考え。また、住宅を建てた方も、安心して住めるところに住宅を建設できる状況にしないといけないと考える。今後、特別用途地区や特定用途制限地域を設定して、企業活動に支障がないような地域をつくっていくのか。町長の考えを問う。	町 長
-------------------------	---	------------